

事業所名 グループホームいやしの家備前
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成20年 4月16日

評価機関名 ㈱東京リーガルマインド
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

評価調査員
A:現職 理学療法士、ガイドヘルパー講師
資格・経験 理学療法士、介護支援専門員
B:現職 介護支援専門員
資格・経験 ホームヘルパー1級、介護福祉士、介護支援専門員、社会福祉主事

自主評価結果を見る (事業者の自主評価結果にリンクします)

評価項目の内容を見る (評価項目にリンクします)

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か(記述)		
	<p>○管理者は、『1.基本的人権の保護 2.家族的な生活 3.生き甲斐のある生活』を基本理念に、事務所のよく見える場所に「明るく優しくをモットーに」と、入居者と向き合う職員の姿勢とする言葉を掲示し、ミーティング等でも管理者の思いを話し、チームワーク作りに努力している。</p> <p>○入居者一人ひとりの人格を尊重し、その方に合わせた気持ちの良い接遇を心がけ、入居者に「ここに居てよかった」と思ってもらえるホームを目指している。常に、入居者の立場に置き換えて考え、納得のいく援助内容なのか反省し、自分の親をここに住ませたいと思えるホームを目指している。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)		
	<p>○入居者一人ひとりが、思いのままに自由に過ごせるように支援している。入居者は、共用空間の畳スペースの炬燵に入ってくつろいだり外を散歩したりと、自分の居たい所で居たい時間に自由に過ごしている。また、食事の進まない方には決して無理強いせず、コミュニケーションを取りながら様子を見るようにしている。</p> <p>○職員は、常に介護のプロとしての意識を持ち、いつも明るく、優しく入居者に接し、一人ひとりの個性や状況を踏まえて相手を理解し、言葉の掛け方を変える等の配慮をしている。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のベースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

外部評価の結果

講評

全体を通して特に良いと思われる点など(記述)

○備前焼の里、伊部にホームはある。ゆったりとした和風平屋建ての建物で、建物中央に2ユニット共有の玄関があり、玄関の壁一面には、備前焼のレリーフが施されている。広い敷地には、花壇や菜園があり、季節の野菜等が植えられている。入居者は、広い敷地内を自由に散歩したり、菜園の野菜の収穫を楽しんでいる。

○入居者の大半が地元出身の方であり、地元ならではの馴染みの関係や援助を通じ、入居者が住み慣れた地域で充実した人生を歩む事を理想として様々な取り組みを行っている。近所の方が気軽に立ち寄り、お茶を飲んでいくこともある。秋の備前焼祭りには毎年出向く等、年中行事を計画して外に出る機会を多く設けている。

○定期受診時には、協力医療機関が送迎バスを手配してくれており、系列の訪問看護ステーションの看護師の定期的な訪問もある。他にも、地域の医療機関との連携もあり、身体状態の把握や異常時の相談、入院、緊急対応等医療との連携体制は万全である。

○明るく広い居間と回廊式の廊下の壁には、絵画や入居者の作品が『ギャラリーいやし』と称して飾られている。習字やボランティアに教わっている絵手紙の作品等たくさんの作品が展示されており、皆のいやしの場ともなっている。今年は入居者の絵手紙で家族に年賀状を出し、入居者にも家族にも大変喜んでくれた。

特に改善の余地があると思われる点(記述)

特に改善の余地があると思われる点はない。

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にされた整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)		
	<p>○一人ひとりの好きな事や、持てる能力を活かした活動が役割と結びつくように働きかけている。モップ掛けや洗濯物たたみ等の家事のほか、長年縫い物をしてきた方に刺し子の作品をお願いしたり、鉄が使えの方にカードを作ってもらったり等して、達成感や満足感につながるよう取り組んでいる。</p> <p>○面会の方には個人ファイルとお茶を用意し、ファイルの面会者欄に記入してもらい、ファイルの各項目を見ながら様子を話している。また、重要書類は事務室で管理し、不要となったものは全てシュレッダーで処分して、個人の情報を他に洩らさないようにしている。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)		
	<p>○外部での研修に参加した時には、その内容を回覧し、職員間で知識を共有している。また、インシデントレポートで事故やヒヤリハットの報告後、必ず話し合いを持ち、再発防止に向けての検討がなされている。不定期ではあるが、『移乗動作について』等テーマを決めて話し合いを行い、職員の介護レベルを高める努力をしている。</p> <p>○地域との交流促進に努力し、昨年11月には地域の大勢の方々の参加を得て、第1回目の運営推進会議が開催された。また、地域で行われる備前焼祭りに入居者が小グループで交替で出向いたり、ホーム主催の敬老会には地域の老人やボランティアに声掛けをして参加を得ている。今後は、更に地域との連携に向けて働きかけていく方針である。</p> <p>○個人ファイルは7つの項目毎にまとめられており、分かりやすく内容が充実している。また、排尿チェック表、排便チェック表、入浴チェック表等の活用で、入居者の健康状態を細かく把握できている。更に、各種マニュアルや記述方法の簡素化について検討していく予定である。</p>		